

令和2年10月8日

会員各位

跡見学園後援会

会長 見米 孝尚

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は会の運営に何かとご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度は総会のお知らせ等が遅くなり、ご返信までに十分なお時間がなかった事を心よりお詫び申し上げます。

さて、後援会定期総会の書面議決の集計結果（R2.8.25付）を学園ホームページでご報告させていただきましたが、その際お伝えしました「学園との意見交換会」が9月17日に実施されましたのでご報告いたします。

今回は、理事長、常務理事の他、中学校高等学校校長と女子大学学長にもご出席いただき、実際の教育現場の様子を伺うことができました。

I 「令和2年度後援会予算の特徴について」 （補足説明）

1.助成費の減額

国際交流活動、課外活動の多くが中止となり、それに伴う助成が減った。

減額分の7,731,000円は、育英資金助成費に組み入れる。主にコロナ禍での修学援助奨学金として活用予定。

2.会議費の減額

会議、総会、懇親会等の中止

3.積立金の減額

早急な組み入れが必要だった為、既積立からではなく、新規積立より減額

2.会議費、3.積立金などの減額分を「新型コロナ対策教育支援寄付金」（今年度新設）へ組み入れる。コロナ禍に伴う学習、ネットワーク環境の充実等に活用予定。

後援会としては、「新型コロナ対策教育支援寄付金」がどのように活用されたのか検証していく予定です。今後ともご指導ご協力のほどよろしく願いいたします。

以上

Ⅱ「学園との意見交換会」について（開催報告）

【主な内容】

後援会総会（書面議決）の際に、会員の皆様から頂戴した貴重なご意見に関しまして、この意見交換会でご報告させていただきました。

コロナ禍の学校教育活動報告について、中学校高等学校校長、女子大学学長よりそれぞれ説明がなされました。

学園からは、コロナ禍で休学者を除く本学園に在籍するすべての学生・生徒に修学支援金（総額約3億円）を支給したこともあり、新座で予定していた設備の改修を先送りにした等の報告がなされました。

オンライン授業のための追加的な設備投資は必要と認識しているとのことでした。

（中高）

- ・顔認証付検温器や飛沫ガードを設置し、手指の消毒を徹底し、感染防止に努めている。
- ・罹患者が出た場合の対応（マニュアル作成）も行っている。
- ・少しでも多くの行事・課外活動が実施できる様工夫をする。

例：修学旅行の3月実施（予定）

体育祭、文化祭に替わる行事を生徒会と共に考える。

（大学）

- ・10月より学生の入構制限解除検討中。（図書館、PC教室等）
- ・部分的な対面教育の復活（ゼミ活動や実習の一部を対面授業にて実施予定）
- ・オンライン授業のスキルアップ（教員によってオンライン授業のバラつきがある為）
相談窓口の充実（対象を生徒だけでなく兼任教員へ拡大）
- ・就活支援、他大学の情報収集、ウェブによる面接指導

オンライン授業では得られない、先生、友人とのネットワークの構築のため、少しでも多く対面授業の実施に向けて努めていきたい。

以上